◆好調カテゴリ別　金額市場規模前年比一覧

主食

主食計では、前年比95.6%と前年を下回っており、カテゴリーによって好不調が分かれた。
「米」:巣ごもり需要の影響もあり、新米が好調で伸長。
「てんぷら粉」:少量の油で簡単に揚げられることを訴求する商品が好調。
「パン粉」:巣ごもり需要に加えて、テレビ番組で特集された影響もあり、伸長したと推察される。
「プレミックス」:前月ほどの勢いは見られないものの、パンケーキ・クッキーなどのお菓子作り需要が底堅い。

カテゴリー	金額前年比 2020年10月	前月差 2020年10月
主食　TOTAL	95.6	−2.6
米	103.6	10.3
米飯類		
食パン		
菓子パン・調理パン		
シリアル類	102.4	−10.6
袋インスタント麺	102.6	−5.4
カップインスタント麺		
乾麺		
生麺・ゆで麺	100.9	−4.8
スパゲティ		
マカロニ類	102.9	3.5
小麦粉		
てんぷら粉	113.2	15.8
唐揚げ粉	100.5	9.2
パン粉	103.8	6.2
プレミックス	104.2	−4.2

調味料

前年10月に軽減税率の対象外であった、”料理酒””本みりん”を中心に消費増税前の駆け込み需要の反動により落ち込んだため、20年10月には巣ごもり需要の影響もあり、前年比106.0%と前年を上回った。
「低カロリー甘味料 、蜂蜜、エッセンス類」:家庭内で菓子やケーキ等を子供たちと一緒に手作りするといった需要が、依然として堅調。
「香辛料」:にんにくやシーズニングスパイスが好調。内食機会が増加するなか、料理の味付けに変化を付けて飽きを防ごうと、需要が高まっていると考えられる。
「つゆ・煮物料理の素」:鍋つゆが好調で、気温が前年よりも低かったためと推察される。

カテゴリー	金額前年比 2020年10月	前月差 2020年10月
調味料　TOTAL	106.0	9.4
醤油	107.3	15.1
味噌	105.5	13.6
食塩	104.5	14.3
料理酒	120.9	38.8
砂糖	103.7	13.4
低カロリー甘味料	119.2	22.8
シロップ類		
蜂蜜	117.2	7.7
ソース	100.6	5.4
ケチャップ	104.8	4.1
マヨネーズ	102.1	8.7
ドレッシング	103.2	4.7
香辛料	110.4	3.8
エッセンス類	109.2	1.5
焼肉シャブシャブのタレ	103.5	5.2
食酢		
ぽん酢	106.1	5.9
本みりん	132.5	70.2
みりん風調味料	103.1	24.7
風味調味料	106.5	19.6
削り節		
煮干し		
わかめ・こんぶ類	102.2	8.6
つゆ・煮物料理の素	114.3	15.4
サラダ油・天ぷら油	106.0	16.1
ゴマ油	110.7	7.0
バター	110.5	5.4
マーガリン類		
チーズ	102.8	0.5
ジャム・ママレード		

※網掛け
前年比 105%超:

加工食品①

前月よりも伸長し、前年比104.0%と前年を上回り好調を維持。
「お茶漬けの素」:内食需要が増加するなか、手軽に使用できるため人気となっていると考えられる。のりやわさび風味のものが好調。
「シチューベース」:デミグラスソース・ホワイトソースタイプともに好調。
「調理用スープ」:コンソメタイプの洋風だしベースが好調で、前年よりも気温が低いことも寄与したと考えられる。
「冷凍水産」:シーフードミックス・貝類などが好調。パスタやピラフなどの料理での需要が堅調だと推察される。
「冷凍農産」:内食やお菓子作りの需要により、ほうれんそうやブロッコリーなどの野菜のほか、果実も好調。

カテゴリー	金額前年比 2020年10月	前月差 2020年10月
加工食品①　TOTAL	104.0	1.0
春雨・くず切り	107.9	4.7
こうや豆腐		
海苔	103.6	4.8
ふりかけ	103.1	8.5
お茶漬けの素	112.2	−1.3
まぜご飯の素	100.0	−4.4
カレー		
シチュー	105.8	9.9
パスタソース		
シチューベース	112.5	1.6
メニュー専用料理の素	102.5	0.3
スープ類	104.7	3.5
味噌汁・吸物類	104.2	1.0
調理用スープ	110.9	8.2
冷凍水産	132.3	8.2
冷凍農産	117.1	3.3
冷凍調理	104.3	0.9

加工食品②

前月ほどの勢いはないものの、前年比103.3%と前年を上回り好調を維持。
「パウチ入り食材」:内食やお菓子作りの需要により、スイートコーンやカットトマトなどの野菜のほか、果実も好調。
「和風食品」:気温が前年よりも低かったためか、おでんが好調。
「洋風食品」:簡便に準備できる、ハンバーグやピザなどのチルド商品が人気。
「焼豚」:簡便に準備できる、スライスや厚切りタイプの商品が人気。

カテゴリー	金額前年比 2020年10月	前月差 2020年10月
加工食品②　TOTAL	103.3	−1.0
魚介類缶詰		
野菜缶詰	102.9	−1.2
フルーツ缶詰		
畜肉缶詰		
パウチ入り食材	110.5	1.8
和風食品	110.1	4.6
洋風食品	110.1	1.2
中華風食品	106.1	4.2
畜肉ハム	100.7	−2.1
畜肉ソーセージ	101.2	−0.4
魚肉ソーセージ		
焼豚	110.3	−0.7
ベーコン	103.8	−3.5

加工食品③

前月よりも伸長し、前年比101.9%と前年をやや上回った。
「はんぺん」:内食での和風料理用の食材として、好調を維持。前年よりも気温が低く、おでん用の需要も伸長したと見て取れる。

カテゴリー	金額前年比 2020年10月	前月差 2020年10月
加工食品③　TOTAL	101.9	1.8
かまぼこ		
ちくわ	104.4	−1.1
はんぺん	106.6	2.0
揚げ物	102.9	3.8
納豆	101.4	−1.3
煮豆	101.2	3.9
佃煮	102.6	4.2
もずく・めかぶ		
豆腐類	101.6	1.8

菓子

前月よりも伸長し、前年比100.3%とほぼ前年並みとなった。
外出自粛の影響により、キャンディやチューインガムの不調は継続。
「ビスケット＆クラッカー」:ケーキタイプの商品が好調で、ハロウィン需要も寄与したと見て取れる。
「玩具メーカー菓子」:TVアニメのキャラクター商品の好調が続いており、映画の公開で話題となるなか新商品も人気となったため、前月よりもいっそう伸長。

カテゴリー	金額前年比 2020年10月	前月差 2020年10月
菓子　TOTAL	100.3	2.0
チョコレート	101.8	2.8
キャラメル	100.3	7.3
キャンディ		
チューインガム		
ビスケット＆クラッカー	104.7	0.3
スナック	101.3	−5.4
煎餅・あられ		
玩具メーカー菓子	**227.4**	65.2
栄養バランス食品	102.6	−1.6

嗜好品

前月よりも伸長し、前年比102.1%と前年をやや上回った。
「ホイップクリーム」:前月ほどの勢いはないものの、手作り菓子需要により、前年を大きく上回る。
「インスタントコーヒー・レギュラーコーヒー・日本茶」:前年10月に軽減税率の対象であるにも関わらず、消費増税前の駆け込み需要の反動で落ち込んだため、巣ごもり需要の影響もあり、大きく伸長。
「ココア」:前年よりも気温が低く、インフルエンザ予防にもつながると健康効果が着目されたためか、前月よりも30ポイント近く伸長。
「中国茶」:ダイエット効果が注目された”杜仲茶”が好調を維持。

カテゴリー	金額前年比 2020年10月	前月差 2020年10月
嗜好品　TOTAL	102.1	5.2
アイスクリーム		
デザート類		
ベビーフード	100.4	9.3
インスタントクリーム	100.1	14.9
フレッシュクリーム		
ホイップクリーム	115.2	−5.5
インスタントコーヒー	109.1	19.0
レギュラーコーヒー	114.5	14.2
紅茶	112.2	16.2
ココア	120.0	27.2
日本茶	113.3	18.2
麦茶		
中国茶	117.1	3.2

飲料

前月よりは伸長したものの、前年よりも気温が低い影響があり、前年比95.9%と前年を下回った。
「炭酸飲料」:ピーチやレモネードフレーバーの新商品が好調で、果汁炭酸飲料が伸長。
「紅茶ドリンク」:レモネードフレーバーの新商品や、容量を増やしたリニューアル品により、フルーツフティー飲料が好調。

カテゴリー	金額前年比 2020年10月	前月差 2020年10月
飲料　TOTAL	95.9	2.3
牛乳		
ヨーグルト		
乳酸菌飲料		
豆乳		
100%ジュース		
果汁飲料		
トマトジュース		
野菜ジュース		
コーラ		
サイダー	100.5	−0.9
炭酸飲料	101.2	4.7
コーヒードリンク		
紅茶ドリンク	102.1	26.0
液体茶		
スポーツドリンク		
美容・健康ドリンク	100.9	11.8
栄養ドリンク	100.0	8.9
ミネラルウォーター類		
乳酸飲料		

アルコール

前年10月に消費増税後の駆け込み需要の反動で落ち込んだため、20年10月には前月よりも伸長し、前年比106.1%と前年を上回った。
「ビール、ワイン」:20年10月の酒税法改正により、ビールのうち新ジャンルとワインが増税された影響で買い控えも見られ、伸び幅は他の酒類よりも小さい。
「ウイスキー、日本酒、焼酎」:20年10月の酒税法改正により、減税された日本酒のほか、税率変更のないウイスキーや焼酎も伸長。

カテゴリー	金額前年比 2020年10月	前月差 2020年10月
アルコール　TOTAL	106.1	13.7
ビール	100.2	7.5
ウイスキー	118.5	24.9
ワイン	108.3	12.0
日本酒	112.3	30.1
焼酎	112.9	28.5

日用雑貨

前年10月に消費増税後の駆け込み需要の反動で落ち込んだため、20年10月には前月よりも伸長し、前年比119.6%と前年を大きく上回った。とりわけ、ぬれティッシュや使い捨て紙クリーナーなど、新型コロナウイルスの感染予防対策として、身の回りを清潔に保つための商品の需要が堅調。

カテゴリー	金額前年比 2020年10月	前月差 2020年10月
日用雑貨　TOTAL	119.6	42.0
歯ブラシ	114.5	42.0
歯磨き	121.9	46.0
マウスウォッシュ	118.7	39.9
義歯用剤	111.8	43.4
洗濯用洗剤	128.9	58.1
中性洗剤	121.8	54.9
漂白剤	120.5	43.4
柔軟剤	131.9	53.7
台所用洗剤	131.1	49.5
住居用クリーナー	122.8	33.0
トイレ用クリーナー	116.8	38.8
バスクリーナー	126.9	49.0
パイプクリーナー	112.5	30.9
家庭用手袋	120.5	21.6
化学雑巾	115.3	32.5
たわし・スポンジ	113.4	30.7
水切り袋	117.2	33.7
殺虫剤	123.6	62.6
防虫剤	112.9	40.4
カビ防止剤	117.6	23.1
芳香・消臭剤	109.9	35.3
トイレタンク用洗浄芳香剤	121.2	40.8
除湿剤	112.1	39.5
ラッピングフィルム	111.5	37.4
アルミホイル	118.2	30.8
食品包装用品	117.6	46.4
アルミガスマット	113.5	47.6
ティッシュペーパー	121.0	56.9
トイレットペーパー	121.9	40.9
ペーパータオル	145.1	25.3
ぬれティッシュ	133.6	44.3
使い捨て紙クリーナー	111.1	35.3
紙おむつ	121.6	44.8
大人紙おむつ	106.5	37.4
生理用品	109.3	23.0
絆創膏	122.1	50.7
使い捨てカイロ	102.9	22.3
綿棒		

ペット

前年10月に消費増税後の駆け込み需要の反動で落ち込んだため、20年10月には前月よりも伸長し、前年比117.1%と前年を大きく上回った。
「ペット用品」:犬猫用だけではなく、魚類や昆虫用の商品でも2桁増と好調となっている。

カテゴリー	金額前年比 2020年10月	前月差 2020年10月
ペットカテゴリ　TOTAL	117.1	30.9
ドッグフード	115.6	33.0
キャットフード	117.8	25.9
ペット用品	119.4	37.4

石鹸・ヘアケア

前年10月に消費増税後の駆け込み需要の反動で落ち込んだため、20年10月には前月よりも伸長し、前年比116.7%と前年を大きく上回った。
「石鹸」:新型コロナウイルス予防対策の需要が堅調で、とりわけ、ハンドジェルやハンドソープが大きく伸長。
「入浴剤」:外出自粛により、”おうち時間”を楽しもうとする需要が底堅く、前年よりも気温が低かったことも寄与したと見て取れる。

カテゴリー	金額前年比 2020年10月	前月差 2020年10月
石鹸・ヘアケア　TOTAL	116.7	38.2
石鹸	131.4	41.5
入浴剤	139.2	47.0
シャンプー	113.6	39.5
ヘアーリンス	117.3	46.0
ヘアートリートメント	131.4	48.6
アウトバスヘアケア	107.8	32.9
ヘアーカラー	111.0	41.7
育毛トニック	116.8	44.3
制汗剤		

化粧品

前年10月に消費増税後の駆け込み需要の反動で落ち込んだため、20年10月には前月よりも伸長し、前年比106.7%と前年を上回った。
栄養クリームや乳液などの基礎化粧品が伸長しているのに対して、マスクで隠れる部分に使用する口紅やファンデーションなどは前年割れが続いている。

カテゴリー	金額前年比 2020年10月	前月差 2020年10月
化粧品　TOTAL	106.7	50.9
クレンジング	116.9	51.0
洗顔クリーム	116.8	45.1
化粧水	124.1	66.5
乳液	129.9	82.0
栄養クリーム	131.7	72.9
パック		
美容液	126.6	68.0
化粧下地		
ファンデーション		
おしろい	102.1	46.4
口紅		
眉目料	107.8	37.9
マニキュア		

医薬品

前年10月に消費増税後の駆け込み需要の反動で落ち込んだため、20年10月には前月よりも伸長し、前年比120.6%と前年を大きく上回った。
「マスク」:前月よりも伸び幅が減少したものの、新型コロナウイルスの感染予防対策の需要が底堅く、依然として前年比500.4%と好調を維持。マスク需要は、例年では夏場に底を迎えたのち秋から冬にかけて伸長することから、前年比の伸びの勢いが弱まってきている。
「鼻炎治療剤」:秋の花粉症対策として、需要が伸長。
「皮膚用薬」:新型コロナウイルス感染予防対策の需要が堅調で、手指消毒剤が引き続き大きく伸びている。
「漢方薬、健康食品」:内臓脂肪やむくみへの効果を訴求する漢方薬や、ダイエット効果を訴求するソイプロテイン粉末の健康食品が好調。外出自粛に伴う運動不足・体形変化への対策として、需要が高まっていると見て取れる。

カテゴリー	金額前年比 2020年10月	前月差 2020年10月
医薬品　TOTAL	120.6	24.4
コンタクト用剤	102.0	39.7
マスク	**500.4**	−250.3
ミニドリンク剤		
漢方薬	110.7	24.3
総合感冒薬		
鼻炎治療剤	114.3	32.8
解熱鎮痛剤	102.2	18.7
鎮咳去痰剤		
口腔用薬		
胃腸薬	105.4	25.6
整腸薬	103.1	25.9
外用鎮痛消炎剤		
皮膚用薬	**150.6**	30.2
目薬	101.7	23.5
健康食品	110.1	29.5

この資料は当該データの公開時点での集計であり、最新データと異なることがあります。
利用は、原則貴社内のみとし、第三者への開示が必要な場合は、弊社が定める「パネルデータレポート第三者開示・利用基準」に従います。
また、弊社に起因しない事由により生じた内容の瑕疵についての訂正・取替えに関する義務は負いかねます。

（株）インテージ
DataSource：SRI 2020年10月データ